

●1分で見える世界景気／2016年11月後半から見た12月動向

※政治が影響する来年、日本は通商自由、英米協調を堅持し、トランプノミクス&アベノミクスの妥協点を見つけられるか？

欧州

英国

ポンド安→観光消費や輸出が好調
17年経済成長0.8→1.4%へ

3月までに離脱通告

EU17年GDP予想はさえない
1.9→1.0%

政治イベントが経済に影響

- ・イタリア憲法改正投票12月
- ・オーストリア大統領選挙12月
- ・フランス大統領選挙4月5月
- ・ドイツ総選挙 秋

●欧州中銀

量的緩和延長を12月に判断

中国

米国の対中政策は？

10月は陰り

- ・個人消費が伸び悩み
- ・政策効果の自動車販売が息切れ
- ・輸出不振
- ・過剰債務
- ・政策投資頼み
- ・不動産価格下がらず

米国

●FRB「12月利上げか」

景気好調

10月雇用増16.1万、10月失業率4.9%

7-9月GDP実質成長率2.9% (前期比年率)

10月 賃金上昇率+2.8% (前年同月比)

トランプノミクスはどこまで続くか？

アメリカファーストによる減税、規制緩和、大型財政出動の具体化に注目が集まる

日本

7-9月GDP2.2%増 (前期比年率)

- ・輸出、住宅伸びる
- ・消費、投資は停滞

トランプノミクス&アベノミクス

の妥協点が見つけれられるか？

●日銀

金融緩和が量から金利へ

- ①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

トランプノミクスの動向を様子見の世界

緩和マネー

緩和マネー

新興国→二極化傾向強まる

●OPEC減産最終合意成立→原油価格上昇か

●新興国通貨下落、投資が米国へ還流

(トランプノミクスを注視)